

みんなで観よう! 親子で観よう! //

「冬が来る前に、雪が降る前に、
北の森にたどり着かなければ…」
走れグリック! めざせ北の森を!

第24回

劇団たんぽぽ公演

グリックの冒険

原作 斎藤惇夫/荻内正幸画『グリックの冒険』(岩波少年文庫) 脚色/久野由美 演出/ふじたあさや

とき

2016年11月6日

午前の部 10:00開場/10:30開演
午後の部 13:00開場/13:30開演

ところ

豊岡東交流センター

磐田市敷地1187-3 *床に座りますので座布団等をお持ち下さい。

- チケット 前売券 500円 当日券 700円 (小学生以上有料)
- 前売券 9月3日(土)午前10時から発売
- 販売所 磐田市文化振興センター、竜洋なぎの木会館、アミューズ豊田、
福田中央交流センター、豊岡東交流センター
- 問合せ 豊かなふる里・明るい子供を育む豊岡の会
☎0539-62-5481 [Eメール] hiro-se@yr.tnc.ne.jp おおはし
劇団たんぽぽ http://www.gekidan-tanpopo.com/
☎053-461-5395 [Eメール] tanpopo@gekidan-tanpopo.com
- 主催 豊かなふる里・明るい子供を育む豊岡の会 ●共催 磐田文化振興会、磐田市子供豊岡ブロック ●後援 磐田市、磐田市教育委員会、静岡新聞社、静岡放送、中日新聞東海本社



ぼうけん グリックの冒険

さあ、ゆこう、北の森へ!
なかまたちが自由にくらす
ほんとうのふるさとへ!

おはなし

シマリスのグリックは、小さなカゴのなかで飼われていた。
ところがある日、伝書鳩のピッポーから北の森の話を知る。
「大きな森なんだ。その森の中にはおおぜいの君の仲間たちがいたんだ。君の仲間たちはね、
いつだって自由に草の上を走りまわり、高い木の枝から枝へ楽しそうに飛び移っていたよ。
なのにどうして、君はこんなところにいるんだい？」
「どうしてって…。だって、ここがぼくのうちだもん。」
「君のうちは、こんな小さなカゴじゃないよ。君の仲間たちが自由に暮らす、あの森さ。」
グリックの頭の中は、北の森のことについていっぱいになった。
たくさんの仲間たち、果てしなく広がる森。
ぼくも誰にも邪魔されず、自由にその森を走りまわってみたい!
グリックはうちをとび出すと、北の森めざして走り出した!

冒険者ガンバとの出会い。
ガンバは世界中、旅してるネズミだ。ガンバはグリックに言った。
「冒険の話は好きだが、実際に誰もしたがるねえ。でもおまえは、北の森をめざしてうちを
とび出して来たんだ。おまえもりっぱな冒険者さ。」
「ぼくも…冒険者。」
グリックの旅は続く。
動物園のシマリスの、のんのんと出会い、一緒に北の森まで旅をすることになる。
北の森に進むにつれ、自然の厳しさを知るグリックとのんのん。
二ひきの前に立ちはだかる「冬眠」という壁。
無事に北の森にたどりつけるのか…。
グリックとのんのんの本当の冒険ははじまった。
冬が来る前に、雪が降る前に、早く北の森にたどり着かなければ!



チケット発売 ▶ 平成28年9月3日(土)午前10時から

劇団たんぼぼは、昭和57年磐田市上野部神田地区(旧豊岡村)に道場を作り、地域とともに文化活動を展開してきました。豊岡地区文化協会(旧豊岡村文化協会)は、子どもの心に夢の種を播こうという趣旨のもと活動している劇団たんぼぼを支援し、ともに発展していくために平成4年より23年間の長きに渡って活動してきました。

劇団たんぼぼをこれからも磐田市の財産として守り育てていくために、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

豊かなふる里・明るい子供を育む豊岡の会

劇団たんぼぼは、2012年公益社団法人 教育演劇研究協会として新たな一歩を踏み出しました。